

# 公共交通のある暮らし

# 地域公共交通計画を策定しています



地域公共交通活性化再生協議会\*では、新たな公共交通の計画の策定を進めています。

バスや鉄道など、さまざまな交通手段が地域にふさわしいものになるよう計画することは、まちづくりのあり方や外出時の移動のしやすさなど、皆さんの暮らしに大きく関係します。

今回は市の公共交通の現状と協議会で検討してきた計画の基本理念などをお知らせします。

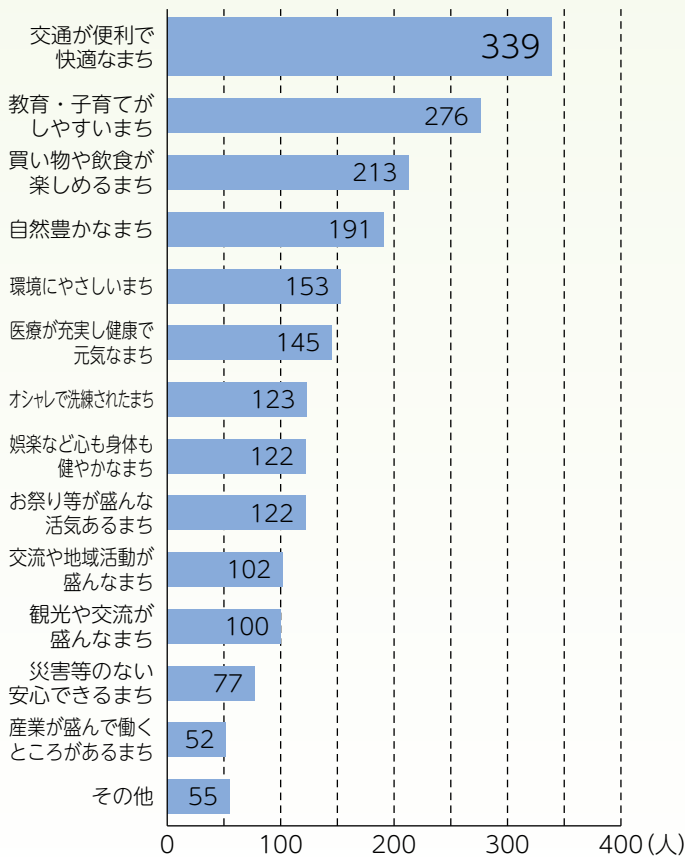
\*…市内の公共交通を利用しやすくするため、市民、公共交通事業者、行政(国・県・市)などが一緒に考える組織。

伊賀鉄道の年間利用者数



高校生対象アンケート

あなたがもし「伊賀市長」になったら、どのようなまちをめざしますか【3つまで選択】



市内の鉄道は1日あたり8,000人を超える人に利用されています。しかし、伊賀鉄道の年間利用者数を見ると、年々減少してきていることがわかります。特に伊賀鉄道の利用者全体の約7割を占める定期の利用者が減少しています。

伊賀鉄道のほかにも、市内の多くの公共交通で利用者が減少傾向にある、公共交通の利用促進や、需要に

応じた運行形態や運行方法への見直しが必要となっています。

◆公共交通の需要

市ではこれまで、「鉄道・バス利用者アンケート」や「交通の現状と今後のあり方に関するアンケート調査」などを行い、皆さんの利用状況や公共交通に対する考えなどを調べてきました。

1年間の市内公共交通の利用については、市民の3人に1人にあたる32%の人が公共交通を利用したと回答しました。また、「今は公共交通を利用していないが、将来は公共交通を利用すると思う」と答えた人が52%と、半数を超える人が将来利用したいと回答しています。

公共交通の維持費については、「市民・市の負担を増やしてでも取り組むべき」と回答した人が44%となつたほか、高校生を対象としたアンケートでは、「もし伊賀市長になったらどのようなまちをめざしますか」という質問に「交通が便利で快適なまち」と回答した生徒がおよそ40%いました。このように、公共交通は今後も必要と考える人が多く、需要が高いと言えます。

しかし、鉄道・バスの満足度は不満の割合が満足の割合を上回っており、皆さんの満足度を高められるような取り組みが必要です。

### ◆将来に向けた公共交通

市内で暮らす皆さんにとって住みやすく、伊賀市をより魅力的なまちにするために、皆さんの公共交通に対する満足度を高め、将来に向けて「使って残していく」「支えて残していく」公共交通づくりを進めていきます。

### ◆計画の基本理念と基本方針(案)

## 基本理念

暮らしに寄り添い  
ひと・地域が輝くネットワークづくり  
～みんなで磨き上げ使って支える 伊賀市の地域公共交通～

#### 基本方針③

**一緒に考え、次世代へつなぐべく  
持続可能な仕組みづくり**  
市民・地域・交通事業者・企業・行政などが協力し合い、利用促進と現在ある問題の解消に努め、持続可能な仕組みの構築に取り組みます。

#### 基本方針②

**誰もが利用しやすく、使いたくなる  
ような地域公共交通サービスの充実**  
誰もが安心して暮らせるよう、各地域の特性に応じた移動手段を確保します。公共交通を使ってもらうために、より分かりやすい運行情報の提供や乗り継ぎしやすい運行ダイヤを設定します。

#### 基本方針①

**市民・利用者の生活の質を高める  
地域公共交通ネットワークの形成**  
市内から公共交通を利用して都市部へ通勤・通学などができる環境を維持・活性化します。  
伊賀鉄道は公共交通ネットワークとしてだけではなく、観光資源として市内内外の人たちに愛される交通機関をめざします。

### ◆今後の予定

これから次のことを検討し、計画の策定を進めていきます。

- 計画の達成水準を分かりやすくイメージするため、数値を使った目標を設定します。
- 目標を達成するために、誰がいつまでにどんな事業を実施するのかを示します。
- 事業が適正に進んでいるかをチェックするための、数値目標の評価方法や評価スケジュールを示します。

また、計画の内容について、11月以降に皆さんからの意見を募集する予定です。  
そこで皆さんからいただいた意見を計画づくりに反映させ、今年度中の計画策定をめざしています。

※計画の詳しい内容は広報いが12月号でお知らせします。

#### 【問い合わせ先】

交通政策課  
☎ 22・9663    FAX 22・9694  
✉ koutsuu@city.iga.lg.jp

